

(公社) 青森県診療放射線技師会理事会等議事録

委員会等名： 令和7年度第4回理事会	
開催通知：令和7年12月4日(木)	
開催日時：令和7年12月15日(月) 19:30 ~ 20:50	
場 所：Zoomミーティング	
議 長：佐藤兼也	議長が指名した議事録作成人：澤橋政美
(出席者) 理事：12人(定数15) 監事：2名(定数2) 常務理事：佐藤兼也、小澤友昭、成田将崇、森脇公洋、石倉牧人、横山幸夫、大湯和彦 理事：岩瀧昌善、三浦隆司、澤橋政美、竹山修嗣、内田幸範 監事：稻葉孝典、福士正広	
(欠席者) 理事：米田竜二、伊丸岡俊治、高橋康幸	
会議を始めるにあたり参加者全員の通信確認を行った。	
(議事要旨)	
【議案1】入会の申請（森脇常務理事） 入会申請者4名（新入会3名、再入会1名）について資料が提示され、承認された。	
【検討1】日本診療放射線技師会正副会長と当会会長との懇談 令和8年1月16日 18:30からMicrosoft Teamsにて開催される。 当会所属の20代後半から30代のJART会員診療放射線技師2名を当会ホームページで募集中である。 申込みがない場合は佐藤会長が人選し決定するが、推薦したい方がいれば今週中に連絡する。 なお、佐藤会長と参加する会員2名についてはJARTから会議費用ができる。それ以外については会員であればオブザーバーとして参加は可能であるがJARTから会議費は出ない。	
【検討2】第158回青森県MRⅠ研究会（佐藤会長、大湯常務理事） 令和8年1月24日、弘前大学医学部附属病院にてハイブリット開催について、参加90名を見込んでいる。 当会より特別講演の講師の宿泊・交通費及び講演料（20,000円）を規程に従い支払う。 予算案は後日提出して頂く。	
【検討3】第10回告示研修（石倉常務理事） 令和8年2月15日、青森県立中央病院にて、32名の定数で開催予定であり、JARTには申請済みである。 2月9日に荷物が配達予定である。 前日県病スタッフに準備をお願いしたい。 派遣依頼書を作成する。	
【検討4】ワクチン筋注実技研修（佐藤会長・石倉常務理事） ファンтомは12月に青森市民病院に届く予定であるが、現在未着である。 今年度は併催するイベントが見当たらないので令和8年度の開催の見込みとなっている。 ファシリテータを決めておく必要がある。	
【検討5】全国X線撮影技術読影研究会 第31回青森大会（佐藤会長） 令和8年5月30日、31日に弘前大学保健学科にてハイブリット開催予定である。 保健学科の工藤先生と小山内先生と佐藤会長で実務を担当する。 趣意書については、事務局で作成していただき展開する。 ランチョンについてはコニカでまとまっている。	
【検討6】次期TCRT企画委員について（佐藤会長） 現TCRT企画委員から3名の推薦があった。	

その中から健生病院 濱田 圭登会員を推薦する。

【検討 7】令和8年度行事予定（森脇常務理事）

学術大会を6月開催にもどし、総会と連日開催にするか。

フレッシャーズセミナーについて、JARTではサポート終了するため、当会として継続するか。贊助会員発表会や情報交換会の開催時期についてメーカーの方の宿泊のしやすさを考慮しても良いのではとの意見があった。

3月の理事会には決定したい。

【報告 1】会長・副会長・常務理事業務執行報告（森脇常務理事）

令和7年9月25日から令和7年12月14日までの報告がされた。

令和7年10月10日から12日のTCRTに小澤副会長、石倉常務理事を追加修正された。

【報告 2】ピンクリボンキャンペーン（横山常務理事）資料閲覧のみ

サンロード青森にて開催された。

開催後の報告は片岡さんからまだきていない。

例年より協賛依頼の連絡が遅かったため、ラジオ放送がはじまってからの依頼であった。

いつも通り、ラジオで「公益社団法人青森県診療放射線技師会」の名前が呼ばれた。

協賛金は例年通り10万円（プラス消費税1万円）で合計11万円である。

【報告 3】第15回TCRT（佐藤会長・小澤副会長・成田副会長・石倉常務理事）

詳細な報告書が提示され、参加者512名であった。

残る業務は令和8年1月12日の盛岡で行われる会計監査のみである。

【報告 4】第33回青森CT・MRI診断・技術研究会（成田副会長）資料閲覧のみ

令和7年11月7日、Zoom Webinarによるweb開催された。

参加者は医師27名、技師25名で県外からの参加者もいた。

なお、当会からの支出はない。

【報告 5】令和7年度県原子力防災訓練（佐藤会長・森脇常務理事）

・令和7年10月17日に調整会議に佐藤会長、米田理事が出席した。

弘前総合医療センターより1名、青森労災病院より2名の診療放射線技師がプレイヤーとして参加予定である

訓練場所において当日朝に熊の目撃情報などあれば会場設営が困難と判断し中止となることが告げられた。

・令和7年11月13日に原子力防災訓練に森脇常務理事、米田理事、雪田会員（青森県立中央病院）荒木会員（むつ総合病院）の4名が参加した。

天候が急変し大雨となつたため、シナリオの一部を変更し実施された

訓練終了後には評価者から避難者に不安を与えないような言動や対応をより意識していただきたいとの意見があった。

会計報告書が提示され、予算に対し-11,707円であった。

【報告 6】中間監査（稻葉監事・福士監事・佐藤会長）

令和7年11月15日、青森市民病院にて行われ、両監事より報告書が提示された。

会運営について

連絡方法について

公的な案内はメールで配信してください。

正会員の死亡時の連絡方法

正会員・贊助会員へメールで知らせることや遺族に技師免許返納の連絡方法等、フロー図を作成して誰でも対応できるようにしてください。

電話債券

伊藤先生から実質電話回線をNTTから契約解除する事例が発生した時点で廃止してはどうか？現在は現状のままのほうが良いと指導いただきました。

常務理事会流会

欠席者の把握が甘いと思う。

医療功労賞

年度内に検討して遅くとも総会開催時の理事会で承認を取らないと実施できないと思う。
会計について

「東北地域準備金」の仕訳について伊藤先生にご相談し、さらに、次回開催に向けた「東北地域準備金」を今後も「預り金」として処理するようご指導いただいた。

「新公益法人会計基準への改正」について。場合によっては定款等を改正しなければならなくなるため、「公益大臣」の改正対応スケジュール及び、定款改正と新基準決算書提出の定時総会開催を鑑みた日程調整が求められる。

**【報告 7】第39回青森県放射線治療技術研究会（竹山理事）資料閲覧のみ
令和7年11月15日、八戸市立市民病院にて開催された。**

参加者は59名であった。

次回は40回記念大会であり、令和8年11月頃弘前で開催することが幹事会で決定した。

【報告 8】令和7年度検診従事者指導講習会（佐藤会長・三浦理事）

令和7年11月30日、青森新都市病院にて開催された。

参加者はメーカーを含めて37名であった。

参加者より胃の検診も企画してほしいとの意見があった。

今後、報告書を作成提出する。

【報告 9】第12回青森県CT研究会（小澤副会長）資料閲覧のみ

令和7年12月6日、青森新都市病院にてハイブリット開催された。

参加者は現地41名、Web37名、合計78名であった。

昨今の不景気から経費削減のため会場を青森新都市病院で行った。次年度も青森市にて格安の会場で開催する旨を世話人会で決定した。

【報告 10】令和7年度青森県法人立入検査（佐藤会長、森脇常務理事）

令和7年12月12日13:30から実施される予定であったが、12日11時過ぎに起こった2回の地震により、県庁での対応が必要になったことから立入検査の延期の申し入れが担当者から連絡があり、再度日程調整をすることにした。

【報告 11】後援依頼（佐藤会長）資料閲覧のみ

・第31回県民公開講座～骨髄移植を知ろう～

アステラス製薬担当者からのメールに後援承認の回答をしたが、ポスターには当会の名称がなかった。佐藤会長を通じて疑義照会の意見が出た。

【報告 12】総務関係（森脇常務理事）

・会員の動向

入会者については議案1のとおり。

除籍となった方から入会申請があり、手続き中である。

退会について2名。JARTISからの申請が可能になり、当会にメールが自動転送されるようになった。手続き上当会への退会届が書面で必要なので、本人に依頼して提出をいただいている。転出による退会は1名が手続き中である。こちらはJARTに届け出したことにより、規定により当会に退会届を出したとみなされる。

会員死亡時のフローチャート作成が中間監査でがり、澤橋理事が草案を作成。ただいま検討中である。

・JART表彰

永年勤続表彰に会員は3名（該当者7名に対し辞退3名、年数未達1名）、地域役員功労表彰には成田副会長を推薦し受理された

- ・J A R Tによる除籍・退会者の債権回収の変更
新たな債権回収委託先としてN T S 総合弁護士法人を選定された。
債権回収の対象範囲を従来の「会員資格喪失（除籍）者」に加え、「年会費未納による退会者」も新たに対象に加えることが決定したと J A R Tから通知があった。
- ・秋の叙勲候補者推薦（II類）
通知から期限まであまりにも期間が短く新たな候補者の掘り起こしを断念、今回は推薦見送りとした。II類の候補者が少ない状況と思われる所以、次回推薦にむけて新たな候補者の策定をしていく。

【その他】

- ・リクエストセミナーに関して（佐藤会長）
被ばく、胃検診、プロテクタ、A I 関連を検討しており、今年度中に実施したい。
ホームページよりマネジメントミーティングが提案されており、成田副会長が弘前地区で行っている会を参考に検討する。
- ・グループメールについて（佐藤会長）
ホームページに登録している方へは一斉送信可能である。
メールアドレスは拒否した人以外は使用可能である。
- ・J A R T学術教育委員幹事会議（佐藤会長・石倉常務理事）資料閲覧のみ
令和7年12月7日に行われた資料が提示された。

フレッシャーズセミナー

クリニカルラダーの e-learning の項目と重複がある、受講してから入会される方が少なく本来の目的が果たされていない。
まったく新しいセミナーを構築するため、来年度は J A R Tから委託しない。

告示研修

37,000人が受講し目的は達成されたが今後も東京・大阪でそれぞれ年6回開催する。
ワクチン接種講習会
ホームページから資料閲覧可能である。
11月26日現在で実技まで終了した方は1,219名、2年間で2万人を目指している。

以上

本書は議事録に相違ない。

令和 7 年 12 月 19 日
青森市安方二丁目 17 番 15-802 号
ライオンズマンション新町通
公益社団法人 青森県診療放射線技師会

会長 佐 藤 兼 也

監事 稲 葉 孝 典

監事 福 士 正 広